

機能別9研究所に再編(1985~1993)

When the division was reorganized into nine laboratories depending on functions (1985 to 1993)

< 基礎・基盤研究部門の位置づけ >

電電公社の民営化を契機に、1985年、R&D体制を機能別の9研究所に再構築し、権限と責任を明確にして機動的な研究開発を行うこととなった。最先端の基礎・基盤研究部門は4研究所に再編され、この第3次体制から、部品材料では関連会社との関係を密にして方式研究への貢献を強化し、基礎技術では世界に通用する革新的な新知見を創出する純粋基礎研究を一層強化することとなった。また、方式研究所において、一部、将来の通信方式に関する基礎的な研究を引き続き行った。

< 研究方針 >

キーとなる先端部品の提供による方式研究への貢献・

新概念・新知見の追求による学術貢献

未来における基盤研究の種の提供

< 研究組織 >

研究開発本部

基礎研究所

- 情報通信基礎研究部
- 材料物性基礎研究部
- 古川特別研究室

電子機構技術研究所

- 電子装置研究部
- 機構技術研究部
- 技術協力部

茨城電気通信研究所

- 複合部品研究部
- 基幹材料研究部
- 総務部

厚木電気通信研究所

- 集積回路研究部
- 集積加工研究部
- 機能デバイス研究部
- 総務部